

教材 ③	<h1>世界の平和を願って</h1>	
目的：戦争が終わった後も残る戦争被害から平和を考える。		
対象：小学校高学年～高校生		
時間：45分		
準備するもの：不発弾の金属でできたスプーンや栓抜き、カラーボール、ワークシート		
学習の流れ		
時間(分)	学習者の活動	進め方とポイント
導入 (5分)	①不発弾でできたスプーンや栓抜きを実際に見て触ったりした感触から何をもとにできているか予想させる。	○スプーンの感触を確かめさせる。(どんな感じがするか、スプーンの前は何だったのか)
展開1 (15分)	②爆弾の写真を見せる。 ・ベトナム戦争によって人口1人あたり世界で最も爆撃を受けた国として今も戦争の被害で苦しめられていることを知る。 ・実際に不発弾処理が行われている現場の写真を見せる。 ・実際の不発弾の爆破処理の動画を見せ、爆弾の威力の大きさ、不発弾の破片の実物を見せることで戦争の恐ろしさを感じさせる。	○ラオスがアメリカに爆撃を受けた経緯、爆撃の回数(58万回)、爆弾の数、(クラスター爆弾2億千万個)不発弾の数(800万個)を提示し爆撃のすさまじさを感じさせる。
展開2 (20分)	③沖縄もラオスとの共通点として今も不発弾が残り、被害にあっている現状を知る。 ・戦争が終わって月日がたっても残る戦争の傷跡について話し合う。	○沖縄の不発弾の現状を自衛隊の資料をもとに見せる。
まとめ (5分)	④平和な世の中にするためにはどうしたらいいか、今自分にできることを考え、ワークシートに書いて発表する。	○戦争の残したものを考えながらワークシートに記入させる。

学習後の展開

ラオスや日本だけでなく、世界中には今も戦争が起きている国や戦争の傷跡によって苦しめられている国があることを知り、平和な世の中をつかっていくために、まずは自分たちができることを考えて取り組ませる。

# 「世界の平和を願って」ワークシート

組 名前 \_\_\_\_\_

今日の授業で感じたことをまとめましょう。

(1) ラオスの不発弾の実情を知って感じたことを書きましょう。

(2) 戦争が終わっても戦争の被害にあっている人々のことを考え、今自分たちに何ができるか考える。

## \* 不発弾に関する参考資料・サイト \*

- 認定 NPO 法人 日本地雷処理を支援する会 (JMAS)  
URL: <http://jmas-ngo.jp/>
- UXO-LAO (ラオス不発弾処理機関)  
URL: <http://www.uxolao.org/index.php/en>
- 陸上自衛隊第 15 旅団 那覇駐屯地 広報資料館  
URL: <http://www.mod.go.jp/gsdf/wae/15b/15b/kohosiryokan.html>
- 何とかしなきゃ！プロジェクト 世界が見えるピックス  
マンガ「戦争の後に残るもの ～ラオスの不発弾」 井上きみどり 作  
\* ラオス不発弾に関するマンガがダウンロードできる。  
URL: <http://nantokashinakya.jp/member-reports/35-kimidori-laosvietnam.php>
- 漫画『クラスター爆弾 ラオスからのメッセージ』  
発行 NPO 法人テラ・ルネッサンス ¥540
- NPO 法人 DEFC (ラオスの子どもたちを応援する団体)  
「残留不発弾啓発活動教育支援お絵かきコンテスト」  
\* ラオスの子どもたちのイラストを見ることができる。  
URL: [http://www.defc-laos.org/?page\\_id=373](http://www.defc-laos.org/?page_id=373)
- 株式会社精巧エンジニアリング(磁気探査を行っている企業)  
沖縄市諸見里1-18-16  
\* 沖縄県の不発弾に関する情報がまとめられている。  
URL: <http://seikou-eng.jp/>

